

様式第2号(第10条関係)

会 議 結 果 の お 知 ら せ

- 1 開催した会議の名称 第1回佐伯市総合計画保健医療福祉・教育文化市民会議
- 2 開催日時 令和4年10月5日(水) 19:00～21:00
- 3 開催場所 佐伯市役所 本庁舎 6階 大会議室
- 4 出席者
委 員：植木優子、大谷慎之介、甲斐和美、垣迫弘美、河合良子、神田芳、桑門超、國部昭夫、後藤馨、曾宮康夫、田中保徳、疋田秀美、廣瀬克樹、三吉雅世、山本眞壽美
オブザーバー：大分県南部保健所 次長 三重野浩通
大分県教育庁佐伯教育事務所 所長 板倉慎二
事務局：政策企画課 課長 末永健二、総括主幹 田村英朝、清田甲生
総合計画検討部会員
- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人数 なし
- 7 議題及び結果
(1) 議題 第2次佐伯市総合計画後期基本計画の策定について
(2) 結果 事前配布資料により、事務局が資料説明をした後、質疑応答を行った。
- 8 会議の資料名一覧
(1) 第2次佐伯市総合計画について
(2) 後期基本計画(案)
(3) 前期基本計画の検証結果
(4) 市民アンケート調査結果
- 9 問い合わせ先
担当課 総合政策部 政策企画課 政策企画係
電話番号22-4104 内線562

令和4年度 第1回 佐伯市総合計画保健医療福祉・教育文化市民会議結果について

日 時 令和4年10月5日（水） 19：00～21：00

場 所 本庁舎6階 大会議室

出席者 【委員】

植木優子、大谷慎之介、甲斐和美、垣迫弘美、河合良子、神田芳、桑門超、國部昭夫、後藤馨、曾宮康夫、田中保徳、疋田秀美、廣瀬克樹、三吉雅世、山本眞壽美

【オブザーバー】

大分県南部保健所 次長 三重野浩通

大分県教育庁佐伯教育事務所 所長 板倉慎二

【事務局】

政策企画課 末永課長、田村総括主幹、清田

総合計画本部会議検討部会員

傍聴者 なし

1 開会挨拶

政策企画課末永課長が挨拶を述べた。

2 委嘱状交付

各席への配付をもって、委嘱状の交付とした。

3 市民会議委員紹介

各委員が自己紹介を行った。

4 会長選出

会長に桑門委員が選出された。

5 会長挨拶

桑門会長が新任挨拶を行った。

6 議事

桑門会長が議長となり、議事を進行した。

（1）第2次佐伯市総合計画について

（2）佐伯市総合計画市民会議について

(3) 前期基本計画の検証結果について

(4) 市民アンケート調査結果について

事務局が(1)から(4)まで、資料に沿って説明し、質疑応答を行った。

《主な質疑応答》

【植木委員】

3500人、回答率が39.37%。40%近く。回答率がいいと考えるが、これは総回答数をどのぐらいと想定して3500人だったのか。

【事務局】

調査報告書に記載のとおり、前回5年前の状況を踏まえた。

回収率が約40%で回収数としては1410件の回答があったというところで、同程度を想定して3500人とした。

(5) 第2次佐伯市総合計画後期基本計画について

庁内で検討した後期基本計画案について説明し、次回までに読み込んで意見を出していただくこととした。

《主な質疑応答》

【神田委員】

「さいきオーガニックシティ」の実現に取り組むということだが、健康づくりの推進に関して、具体的に取り込む、これから取り組んでいく計画があるか。

【事務局】

これから具体的な取組の中で事業を実施する際に、概念を踏まえ検討していく。

政策3 健康で安心して暮らせる共生社会の創生

施策1 地域医療と健康増進の充実

【主な意見なし】

施策2 地域で支える福祉活動の推進

【主な意見なし】

施策3 こともたちが健やかに育つまちづくり

【河合委員】

現状と課題において、「待機児童0人を達成してきました。」とある。保育園の0歳児の入園申込みが、年明け、育休明けに出ているが、今の佐伯市では、どこかには入れているのか。

【事務局】

4月時点では待機児童0ということになっている。育休明けや転入された方というのは、待機児童の状態になっている。

【教育事務所 板倉オブザーバー】

基本方針と次のページの主な取組の項立てがずれている。

【事務局】

資料を修正する。

政策 4 人が学び、人が生き、人が育つ教育の創生

施策 1 学校教育の充実

【田中委員】

8ページの主な取組オ（ウ）の運動部活動の地域移行の推進

運動部活動の地域移行の推進について、スポーツ推進委員の自分たちが動いていいの
か。それとも、要請されてから動くものなのか。

【学校教育課 石井課長】

中学校の土日の部活動地域移行していく方向で、教育問題検討協議会という形で話し
合いを進めている。

地域の関係者の皆様には、今後随時、声を掛けさせていただく。

【甲斐委員】

基本方針の中に、「ユニバーサルな視点」というのが入っている。科学とか夢を追い求
めるとかそういう意味では理解できるが、自分自身を見つめたりとか、足元を固めたり
とか、隣の人とつながったりということから離れていくが危惧される。

【学校教育課 石井課長】

ふるさと教育という形で、地域に尽くしていただいた方々のことについて学ぶ機会を
提供していきたい。子供たちひとりひとりがつながっていくことや、家庭や地域の方々
とつながっていくという視点についても、十分に配慮しながら進めていきたい。

【植木委員】

防災教育の充実とか防災教育の推進について、「減災」という言葉を入れてほしい。

【学校教育課 石井課長】

検討する。

【疋田委員】

総合教育会議について、今までの開催回数、具体的な内容を簡単に教えてほしい。

【事務局】

年に2回開催。

直近では今年の5月に、大分空港が宇宙港になるということに関して、これからの科
学に関する教育などについて議論している。

昨年は、防災教育についてなど、一昨年は、コロナ禍における新しい教育の在り方、
GIGAスクール構想などについて議論している。

【疋田委員】

いじめ不登校の早期解決に向けた取組の箇所が、修正されて、自己肯定感の向上と自
己指導能力の育成に向けた取組に変わっている。佐伯市で何人ぐらいいると把握されて

いるのかと、大人になるまでの間に、どうつながって支援されているのかを知りたい。

【学校教育課 石井課長】

令和2年度の状況になるが、不登校は佐伯市では小学生が39人、中学生が69人、計108人。出現率から見ますと千人当たり23名で、国レベルだと千人当たり20人、県レベルでいけば、22.6人ということで、全国値、県を上回っているという状況。

不登校を抱える保護者の方が語り合える場の提供、学校生活に復帰をしていく子供を支援する取組、社会的な自立に向けた福祉との連携など、学校関係者だけでなく地域社会全体の問題として考えていく。

【亘田委員】

困りやつまずきを抱えているお子さんもいて、抱えていても学校に行ける子もいれば、行けない子もいる。そうした際に、佐伯市でお子さんを診ることができるお医者さんが身近にすることが一番ありがたいことである。市議会で大野議員が質問したと思うが、やはり佐伯市で療育を進めるという基本がなければ、大分まで行く必要があるなど、時間的にも体力的にも親への負担がある。計画においても、医療体制を固めるという、佐伯市が本当に子どもたちのこと考えるのであれば、真剣に考えてほしい。20年間子どもに携わっており、これまでも言ってきたが進んでいない。

施策2 生涯学習の充実

【三吉委員】

公民館のコミュニティセンター化を推進しているとのことだが、センター化するとどういったメリットがあるのか。

【社会教育課 宮田課長】

施設の面で一番わかりやすい違いは、公民館は、公民館法により営利を目的とした使用ができないが、コミュニティセンターは可能である。

【後藤委員】

公民館等のバリアフリー化は、どの会議で、どういった方が出席して決まるのか。

佐伯市に避難タワーが建設されたが、階段しかなく車いすの方は困っていた。避難タワーの基準もあると思うがどういう方を集めて会議をしているのか。

【社会教育課 宮田課長】

施設改修のバリアフリー化は、まだ行っていない。昨年度建設した青山コミュニティセンターなど新築の施設については、バリアフリー対応としている。既存の施設のバリアフリー化については、これからの課題である。

施策3 社会教育の充実

【主な意見なし】

施策4 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承

【主な意見なし】

(6) 今後のスケジュールについて

スケジュールについて説明した。

《主な質疑応答》

特になし

(7) 次回の市民会議の開催日について

調整の結果、10月20日（木）19時から開催することに決定した。

(8) その他

意見提出票について説明した。